

キレイな施設！  
ステイインティーチャーで英語漬けも！



TOEIC Speaking・OPIc スコアアッププログラム  
短期集中でTOEIC Speakingテストのスコアを確実にアップさせよう！！



## 目次

### CONTENT

- 3 ABOUT PHILIPPINES & CEBU
- 4 ABOUT MDL
- 5 HISTORY OF MDL
- 6 IT'S MDL POWER 7
- 8 MDL CURRICULUM
- 9 MDL POWER SPEAKING COURSE
- 10 MDL SPARTA SPEAKING COURSE
- 11 MDL SPECIAL COURSE
- 13 MDL ELECTIVE PROGRAM
- 14 MDL REGULAR TEST
- 15 MDL STAY IN TEACHER SYSTEM
- 16 FACILITY
- 17 ACTIVITY & CIRCUMFERENCE19 RULE
- 18 RULE

## ABOUT PHILIPPINES & CEBU

セブ島はフィリピン中部のビサヤ諸島にある島で、世界からは観光地として名を挙げている地域でもあります。1990年度後半からは英語を学べる留学地域になり、現在セブ島では数多くの語学学校があります。

フィリピンではセブを含め、マニラ、クラーク、バギオ、ダバオなどフィリピン各地に語学学校がありますが、日本、韓国、台湾、中国からの直行便がありフィリピンの他地域より便利で、アジアの各国からの一番多くの留学生が留学している地域がセブ島です。

また、セブ市内ではアヤラモール、SMモールなど大型ショッピングモール及び大型スーパー、たくさんのコンビニがあり、便利なフィリピン生活ができ、タクシー、ジブニーもお安く利用することができます。



# ABOUT MDL

(Major Developing Language Center)



CEBU MDLはフィリピン移民局から外国人登録認定 (AAFS:Approval to Accept Foreign Students) を受けており、合法的にSSP (Special Study Permit) を発給できる安心の教育機関です。

MDL ESL センター	
正式名称	MDL(Major Developing Language Center)
地域	セブ/フィリピン (Cebu Philippines)
住所	MDL Building, Magsaysay Extension, Kasambagan, Mabolo, Cebu City, Philippines
設立年度	2006年
規模	174人
許可	SSP認定学校 (AAFS NO. AFF-06-190) 、TESDA登録学校
オーナー	韓国人
滞在方法	学校の寮又はホテル
設備	マンツーマン講義室98室、1:4グループ講義室3室、1:8グループ講義室4室、カンファレンスルーム1室
	寮：1人部屋(内窓)10室、1人部屋(外窓)4室、2人部屋(内窓)26室、2人部屋(外窓)8室、3人部屋(外窓)12室、4人部屋(外窓)8室、1+1人室(内窓)4室、2+1人室(内窓)4室、3+1人室4室
	食堂、自習室、プール (大、小) 、ジム、シネマルーム、卓球場、Wi-Fi利用可能
門限	(月～木、日) 22:00、(金・土・祝日前) 24:00
立地、周辺環境	徒歩10分圏内にコンビニ、JOLLIBEE、BURGER KING、大型スーパー、多数のレストラン
	セブ市内の中心にあり、タクシーでSMショッピングモールまで10分、アヤラショッピングモールまで10分、ITパークまで10分
備考	24時間体制の警備員 (正門、学校の入口2か所)
	部屋の掃除：週3回、洗濯：週2回

## SSP(Special Study Permit)

フィリピンでの特別就学許可証で学生ビザではなく、観光ビザで英語留学するためには必ず取得が必要な許可です。1回許可を得ると有効期間は6ヶ月になりますが、SSPと語学学校は紐付いているので、6ヶ月の期間内でも語学学校を変更した場合は、SSPの再許可が必要となります。

## TESDA(Technical Education & Skills Development Authority)

フィリピン労働雇用技術教育技能教育庁の事でフィリピンでの学校設立の為にはTESDAの認定を受けることが必要となります。TESDAの認定を受けるには教育機関のカリキュラム、講師の指導技術、税金などの法的厳守、設備、経営、財政、安全などの基準を満たす必要があります。

TESDAの認定は2009年からは義務化され、TESDA認定なく、留学生のビザ及びSSPを申請することはできなくなり、SSPと共にフィリピン留学、語学学校を選ぶ時に真っ先に確認すべきの認定でもあります。

# HISTORY OF MDL

- |  |   |
|--|---|
| <p>2005年 MDL Edu. 設立</p> <p>2006年 フィリピンセブMDL学校開校<br/>フィリピン移民局SSP認証<br/>マンツーマン短期集中、MDLコース開設</p> <p>2007年 第1回現代自動車人材開発部研修実施<br/>フィリピン教育部TESDA認証<br/>韓国教員大学化学教育大学院研修実施<br/>第2回現代自動車人材開発部研修実施<br/>MDLファミリープログラム開設<br/>第1回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施</p> <p>2008年 MDL ESLセンター外部寮設立<br/>CALA加入<br/>(株) FutureFilm研修実施 (韓国)<br/>第2回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>第3回現代自動車人材開発部研修実施<br/>第3回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>第4回現代自動車人材開発部研修実施</p> <p>2009年 第5回現代自動車人材開発部研修実施<br/>第4回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>第5回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施</p> <p>2010年 第6回現代自動車人材開発部研修実施<br/>第6回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>MDLファミリーセンター設立<br/>MDL ESLセンター拡張移転<br/>マンツーマン短期集中、MDL Specialコース開設<br/>マンツーマン短期集中、MDL Opicコース開設<br/>マンツーマン短期集中、MDL IELTSコース開設<br/>建国大学研修実施<br/>第7回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施</p> <p>2011年 JTB業務連携<br/>日本高校英語研修実施<br/>第8回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>第7回現代自動車人材開発部研修実施<br/>蔚山大学研修実施<br/>第9回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施</p> | <p>2012年 第10回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>金剛大学研修実施<br/>泉大津研修実施<br/>第8回現代自動車人材開発部研修実施<br/>第11回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施</p> <p>2013年 第12回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>第9回現代自動車人材開発部研修実施<br/>MDL e-Center開設<br/>産業人力公団アメリカ研修実施<br/>泉大津実施<br/>JX Company研修実施<br/>MECTRON Company研修実施<br/>韓国相助協同 (株) 業務連携<br/>ベトナムAIT業務連携<br/>台湾Go Tour業務連携<br/>ベトナムFuture Link業務連携<br/>第13回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施</p> <p>2014年 第14回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>第10回現代自動車人材開発部研修実施<br/>産業人力公団シンガポール研修実施<br/>JX Company研修実施<br/>産業人力公団アメリカ研修実施</p> <p>2015年 第16回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>軍奨学生研究実施<br/>JB Education研修実施<br/>フカキ夢グループ研修実施<br/>三菱電機エンジニアリング (株) 研修実施<br/>三菱電機エンジニアリング (株) 研修実施<br/>MDL英語寮プログラム細分化<br/>第17回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施</p> <p>2016年 第18回MDLジュニアリーダーシップキャンプ実施<br/>株式会社セブ島英語留学情報センター業務連携<br/>セブ英語学校協会 台湾Famツアー進行<br/>韓国亞洲大学オンライン英会話実施<br/>マボロ親子留学コースオープン<br/>アバロンオープンキャンプ実施</p> |
|--|---|



# IT'S MDL POWER 7

## 1. MDLはSpeaking専門語学学校

小学校から高校、大学まで英語を学んでも、実際に外国人と会話しようとしても、うまく話せないことが多いと思います。これは英語で話す練習をしてこなかったからかもしれません。頭の中には英語の単語が浮かぶけれど話せないのは、話す練習が足りなかったためです。

MDL英語学校では英語のListening、Reading、Writingなどのパート中、Speakingがメインの授業を行い、MDLへの留学した方は、外国人に会っても抵抗なく会話できることを目標としています。

## 2. ステイインティーチャーシステム (Stay in Teacher System)

MDL英語学校ではステイインティーチャーシステムを採用しています。ステイインティーチャーシステムとは、教師と学生が同一部屋で共同生活することで個々人の授業時間のみならず、放課後も英語を使用した生活が可能なシステムです。朝から晩まで24時間英語を使用した生活ができ、より英語を早く話せることができます。

MDL英語学校のステイインティーチャーは1+1, 2+1, 3+1の中から選べます。

## 3. マンツーマン授業が多い

フィリピン英語学校に1日平均マンツーマン授業は4コマですが、MDLでは4コマのマンツーマン授業に1コマの無料マンツーマン授業が加えて1日5コマのマンツーマン授業を行います。(英語学校の基本プログラムの場合、選ぶコースによって1日9コマのマンツーマン授業ができます。)



基本コース1日授業の比較

## 4. 短期集中留学が可能

フィリピン留学のメリット中1つはマンツーマン授業です。MDL英語学校では1日最大13コマ授業(マンツーマン授業9コマ)が可能で、短期間でも英語のレベルを向上することができます。個人の都合で時間をあまり取れない方でも2週間留学で4週間以上を留学効果を得られます。

※1日13コマの授業はステイインティーチャー寮を選択した場合、一般寮を選択した場合は1日11コマの授業を行います。



## 5. 学生個々人のレベルに合わせたカリキュラム

英語留学する学生の英語レベルは個々人によって異なります。グループ授業の場合は同時に4~8人が共に授業するため、授業のレベルを1人ひとりに合わせることはできません。MDL英語学校では他校よりもマンツーマン授業が多いため、個々人のレベルに合わせた授業ができます。

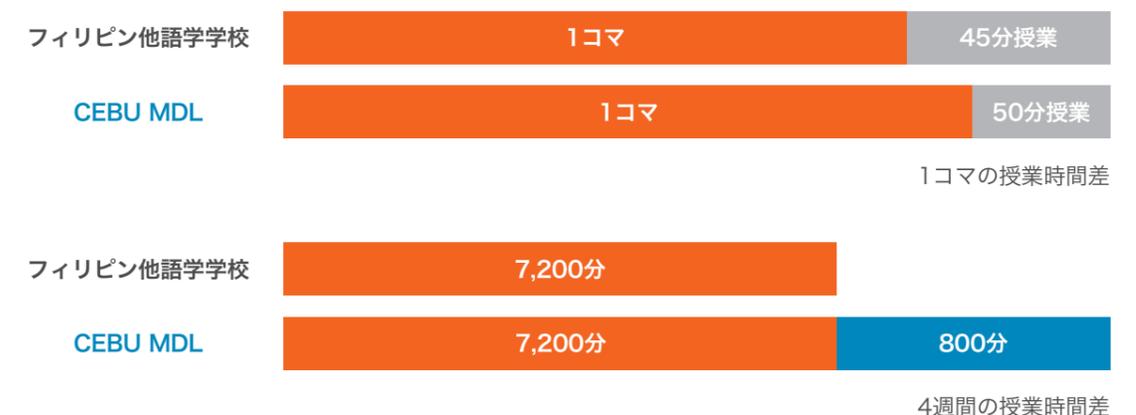
また、学生一人ひとりの学習能力・目標・留学スケジュールに合わせて、教育スケジュールを整うため、より満足な英語留学ができます。

## 6. 1コマの授業は50分

フィリピンの英語学校の授業時間は学校によって少し異なります。1コマ45分、50分、70分、90分。。。

この中でも45分と50分授業で行っている英語学校が多いです。単なる45分、50分を比べてみると1コマ5分の授業時間差ですが、1日8コマの授業の場合、40分の差になります。1週間だと200分、4週間だと800分の授業時間差になります。

MDL英語学校では無駄の無い1コマ50分授業を行います。



45分授業を行う学校より  
**+16コマ** 授業効果!

## 7. 外国籍比率が高い

英語留学のため海外まで来て日本人と生活したいですか? 同じ国の学生と共に生活、留学するとうっかり日本語で話してしまいます。長くない留学期間ではなるべく英語で会話しより英語レベルを高めるべきだと思います。

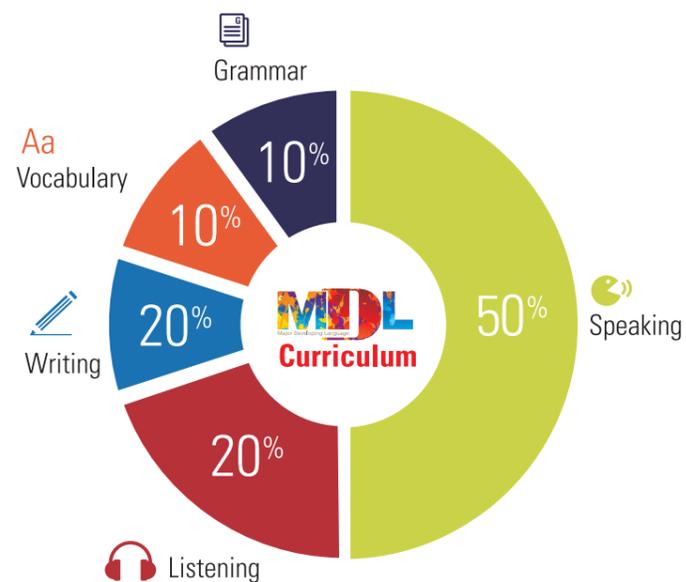
MDL学校では他校よりも日本学生比率が低く、英語で話す機会が多いです。

# MDL CURRICULUM

## 個人のレベルに合わせたカリキュラム

英語留学する学生の英語レベルは個人によって異なります。グループ授業の場合は同時に4~8人が共に授業するため、授業のレベルを1人ひとりに合わせることはできません。グループ授業はできないけれど、マンツーマン授業なら個人レベルに合わせた授業が可能です。

マンツーマン授業を通じた個人のレベルに合わせたカリキュラムは、初心者には英語に興味を持って授業を楽しめるように、上級者にはDiscussion、セミナーなど、効果的に教育を行っております。



## Speakingは50%割合で。。

英語のパート、Speaking、Listening、Writing、Vocabulary、Grammar、Idiomすべて重要です。しかし、言語と言うのはお互いに意思を伝えるコミュニケーションが大切で、SpeakingとListeningが最も大事かと思えます。

それを含め、MDLは、SpeakingとListeningにより集中して授業を行っています。SpeakingとListeningの授業割合は70%、Speakingは50%で、短期間の留学でも英語を話せるように授業を行い、より早く話せることを目指しています。

# MDL POWER SPEAKING COURSE

MDLの基本コースでもあり、英語のレベルに関わらず英語の初級レベルから高級レベルまで選択可能なコースで、学生の英語レベルを正確に把握し、体系的で継続的な学習で英語のレベルを向上させられるコースです。予習、復習とテストで英語のレベルを向上させられます。Power Speaking Course I とPower Speaking Course II が選択できます。

## Power Speaking I

マンツーマン		グループ		1日マンツーマン授業	1日総授業
通常	無料	通常	エレクトティブ		
4コマ	1コマ	2コマ	2コマ	5コマ	9コマ

## Power Speaking II

マンツーマン		グループ		1日マンツーマン授業	1日総授業
通常	無料	通常	エレクトティブ		
5コマ	1コマ	2コマ	2コマ	6コマ	10コマ

※1コマの授業は50分、休憩5分

Power Speaking 1	5コマ (通常4コマ+無料1コマ)	4コマ	1日9コマ
Power Speaking 2	6コマ (通常5コマ+無料1コマ)	4コマ	1日10コマ

■ マンツーマン授業 ■ グループ授業 (通常+エレクトティブ)

# MDL SPARTA SPEAKING COURSE

MDL短期集中Sparta Speaking courseは他学校で行っているスパルタ授業とは異なります。普段スパルタ学校でのスパルタ授業は朝から晩まで授業やテスト自習、外出禁止などのタイトな生活をしますが、MDLでのスパルタスピーキングコースはフィリピン留学のメリットであるマンツーマン授業を最大に生かしたマンツーマン授業のことで、1日最大9コマのマンツーマン授業で4週間の英語留学でも8週間留学以上の効果を得られるコースです。

## Power Speaking I

マンツーマン		グループ		1日マンツーマン授業	1日総授業
通常	無料	通常	エレクトティブ		
6コマ	1コマ	2コマ	2コマ	7コマ	11コマ

## Power Speaking II

マンツーマン		グループ		1日マンツーマン授業	1日総授業
通常	無料	通常	エレクトティブ		
8コマ	1コマ	0コマ	2コマ	9コマ	11コマ

※1コマの授業は50分、休憩5分

**Sparta Speaking 1** 7コマ (通常6コマ+無料1コマ) 4コマ 1日11コマ

**Sparta Speaking 2** 9コマ (通常8コマ+無料1コマ) 2コマ 1日11コマ

■ マンツーマン授業 ■ グループ授業 (通常+エレクトティブ)

# MDL SPECIAL COURSE

MDLではスペシャル授業として、TOEIC Speaking、OPIc、Businessコースを行っています。

## OPIc Course (Oral Proficiency Interview-computer)

日本の企業も海外に目を向け始め、注目が集まっているのが英語の資格です。英語の資格では『TOEIC』が有名です。ヒヤリングでは聞き取り能力を、リーディングでは読解能力を測り、合計得点で英語の能力を表します。各企業はこの得点を、求職者の英語能力を図るために利用している試験です。即ちOPIcの試験は英会話を重視した英語の資格です。

マンツーマン			グループ		1日マンツーマン授業	1日総授業
OPIc	Power Speaking	無料	通常	エレクトティブ		
4コマ	2コマ	1コマ	2コマ	2コマ	7コマ	11コマ

※1コマの授業は50分、休憩5分

**OPIc** 7コマ (OPIc 4コマ+P・S 2コマ+無料1コマ) 4コマ 1日11コマ

■ マンツーマン授業 ■ グループ授業 (通常+エレクトティブ)

## TOEIC Speaking

TOEIC Speakingコースは決められた時間内に自分の意思を素早く、正確で論理的に表現する能力を向上させられるように戦略的に繰り返すことに集中します。また、生活又はビジネスで発生しやすい状況で効果的に対応できるよう状況別英語スピーキング能力を向上させることを目的とします。就職や転職の試験対策はもちろん、様々な状況での対応ができるようにするコースです。

マンツーマン			グループ			1日マンツーマン授業	1日総授業
TOEIC Speaking	Power Speaking	無料	TOEIC Listening	TOEIC Conversation	エレクトティブ		
4コマ	2コマ	1コマ	1コマ	1コマ	2コマ	7コマ	11コマ

※1コマの授業は50分、休憩5分

**TOEIC Speaking** 7コマ (T・S 4コマ+P・S 2コマ+無料1コマ) 4コマ 1日11コマ

■ マンツーマン授業 ■ グループ授業 (TOEIC Listening+TOEIC Conversation+エレクトティブ)

# MDL ELECTIVE PROGRAM

## BUSINESS Course

ビジネスコースは実務に必要な英語能力の取得し、グローバル競争力を培養するのを目的としています。学生のパート別実務英語をビジネススピーキング、パワースピーキング、ビジネスライティング、ビジネスコミュニケーションのプログラムで構成し、実務での必要な英語能力を習得し、より豊かなビジネス英語を目指します。

マンツーマン			グループ			1日マンツーマン授業	1日総授業
TOEIC Speaking	Power Speaking	無料	TOEIC Listening	TOEIC Conversation	エレクトティブ		
4コマ	1コマ	1コマ	1コマ	2コマ	2コマ	7コマ	11コマ

※1コマの授業は50分、休憩5分

**BUSINESS**

7コマ (B・S+B・W+P・S+無料1コマ)

4コマ

1日11コマ

■ マンツーマン授業

■ グループ授業 (Business Communication+エレクトティブ)



勉力熱心な方だけの特権!

自分に必要な授業のみ選べる選択型で、午前1コマ、午後1コマ、学生中心の授業を行っています。

## ELECTIVEプログラム

MDL学生だけの特別な選択型の無料クラスで、学生中心のELECTIVEプログラムはタイトな通常授業に補足として、自分自身の英語能力を向上させるために役に立つプログラムです。午前と午後に分けられたELECTIVEクラスは怠けやすい自分を立て直せるメリットを持ち、経験豊かな講師で構成されたELECTIVEクラスの体系的な授業は本人の英語能力向上や競争心を生み出します。

1. 本人に足りないパートのELECTIVEクラス参加することで、自分の短所を克服する機会を与える
2. 学生によって新たなELECTIVEクラスが開設される学生中心システム
3. 講師の選択、新しいELECTIVEクラス、参加する学生の条件になればいつでも要求することが可能
4. ELECTIVEクラスは学生自らの参加することになるので、満足も高い

・定員：各12名予約制

※人気科目の場合、新入生の参加などにより12名を超えることがあり、定員を超える場合は分けて次の週に配置します。

・申請：毎週掲示板に貼られた選択科目に自分のイングリッシュネームを記入することで、次の週から授業に参加できます。

・規定：円滑な授業の運営の為無断欠席3回の場合は、次週該当授業の選択不可となります。

※申請せずに授業の参加はできません。(新入生の場合は、予約後、該当選択授業に参加できます)

・講義室：該当の選択授業はグループ講義室、コンファレンスルーム、アクティビティルームで行われます。

・出席管理：該当講師からのチェック後、オフィスに報告

・新講開設：5名以上の学生より、申し込みがあればオフィスでの案件確認後、可否を公示。

・閉講：2週以上1人以上の学生が参加しない選択授業はスタッフの打ち合わせ後、閉講する。

※既存の選択授業は1人以上授業に参加する場合は、再構する

区分	午前	午後	1日授業時間
ELECTIVE CLASS	LISTENING CLASS GRAMMAR CLASS	PHONETICS CLASS TOEIC SPEAKING CLASS SPEECH CLASS	2コマ

# MDL REGULAR TEST

MDLでは定期的にDaily、Weekly、Monthly、TOEIC テストを行っています。

## Daily TEST

対象：Intermediateレベル未満の学生

日程：月曜日～木曜日、マンツーマン授業の5-10分

試験：筆記試験、口述試験

## Weekly TEST

対象：MDL全学生

日程：毎週金曜日、マンツーマン授業の5-10分

試験：筆記試験、口述試験

## Monthly TEST

対象：MDL全学生

日程：留学期間によって異なります。4週間1回

試験：筆記試験、口述試験

## TOEIC TEST

対象：MDL全学生中申請者

日程：毎3週目の土曜日

試験：模擬TOEIC試験



# MDL STAY IN TEACHER SYSTEM

MDLのステイインティーチャー寮は学生と講師が同室で生活することで、24時間英語で生活することが可能なシステムです。ステイインティーチャー寮を選択した場合は、通常の授業とは別に夕食後、20時から22時まで共に生活する講師と2時間の授業を行います。ステイインティーチャー寮は留学期間24時間英語の日常生活ができるため、英語の学習効果を高めることができます。

## MDLのステイインティーチャー

- ・セブ初のステイインティーチャー寮の導入
- ・放課後2コマの授業を行う
- ・通常授業と連携し、放課後管理系ステイインティーチャー寮で英語の生活化
- ・2006年からの経験が豊富なティーチャーと共に生活
- ・ステイインティーチャーの徹底的な出席管理及び授業レポート
- ・日本、韓国の文化や生活を理解する外国人ルームメートの役割と放課後の講師の役割
- ・学生が必要とする英語学習と足りない部分を集中管理
- ・短期留学生向けの放課後授業
- ・タイトな通常授業に加えて放課後の授業が必要な方
- ・より早く英語能力を向上させたい方
- ・フィリピン留学後、2ヶ国留学を準備中の方への戦略的な放課後授業

## 選べるステイインティーチャー寮

- ・1+1人部屋（講師1名+学生1名）
- ・2+1人部屋（講師1名+学生2名）
- ・3+1人部屋（講師1名+学生2名）



# FACILITY

# ACTIVITY & CIRCUMFERENCE



# RULE

**有限責任**：MDLが提供する契約されたサービスが、天災やフライトの遅延、キャンセル、または、不可抗力の事由により提供されない場合、MDLあるいはその代理人は責任を負いません。

**コース登録及び留学費用の支払い**：申請者は入学金を入金した3営業日以内にインボイスをお送りします。また、全ての留学費用の支払い後、3営業日以内に入学許可書をお送りします。その他、全ての留学費用は留学開始日の4週間前まで納付することになっています。もし、納付しなかった状態での変更状況については異議することができません。

**遅延到着、欠席、未到着**：授業開始日より遅く到着したり、留学期間の間の欠席については払い戻しできません。欠席のため、メイクアップ授業も行いません。また、留学開始日以後7日以内に到着しなかった場合は最初の2週間の授業料と寮費用を控除、開講後授業に参加しないと払い戻ししません。全ての払戻しは申し出た日から30日以内にMDL又は留学エージェントから払い戻します。

**出席管理規定**：出欠事項については最終的に学生本人の責任であり、メイクアップ授業は行いません。もし、講師が欠席した場合はその日に代替講師の授業又は元講師のメイクアップ授業を行います。また、特別な理由無く1週3回以上の無断欠席した場合はその授業はキャンセルされるので、ご注意ください。

**学生個人の都合による留学、授業中断の規定**：学生個人の事情によって留学が中断される場合は、その時点から全ての契約は完了し、払戻規定によって払い戻します。その以後の授業や寮の処分は全て学校側にあります。

**安全、事故規定**：学生個人で外出や旅行で発生する安全事故及びその他の事故に関して、全ての責任は学生自身にあり、学校側は責任を負いません。

留学前に加入した海外留学保険の規定によって保障され、学校からの保障はありません。学校側から開催される活動だとしても、学校側の許可無く（書面許可必要）無断行動で発生する事故に関しても学校側は責任を負いません。

**払戻し規定及び一般規定**：出発前のキャンセルは必ず、書面で登録した留学エージェントでキャンセルします。いかなる理由によっても入学金は返金されません。授業開始後、授業をキャンセルする場合は学校のスタッフと相談後書面で払戻し手続きを行います。キャンセル後30日以内に留学エージェントから払戻します。

払戻しは4週毎になり、4週未満の場合は払戻しはできません。また、学校規定の違反によって退校する場合は払戻しは致しません。

## MDL払戻規定

- いかなる理由によっても入学金は返金されません。留学開始前、キャンセルする場合は必ず、MDL学校又は該当留学エージェントにキャンセル申請書を提出します。
- 払戻しは4週毎になります。（3週以下の場合は払戻し不可）
- 本人の契約したサービスは他人に譲渡することはできません。
- 下位レベルへの寮の変更する場合は差額の返金はできません。
- 下位レベルへのコース変更する場合、差額は返金できません。

### 出国前

授業の開始4週前：入学金を除いた残余分

授業の開始2週前：2週間分の寮費用を除いた残余分

授業の開始1週前：4週間分の寮費用を除いた残余分

授業開始3日前：4週間分の寮費用と授業料を除いた残余分

### 出国後

総期間の25%以内：残余寮と残余授業の50%

総期間の50%以内：残余寮と残余授業の20%

総期間の50%以後：返金不可

### 延長の時

授業開始4週前：4週間の授業料と寮費用の50%を除いた残余分

授業開始2週前：4週間の授業料と寮費用を除いた残余分

※但し、本人の病気や直系家族の病気の理由で留学を終了する場合は必ず医者の診断書の提出をしなければなりません。また、MDL学校の判断で授業が不可能だと判断した場合も上記の払戻規定により返金します。もし、返金では無く保留する場合は、1年以内の残存期間分の再入学が可能です。

事前通報無く、授業開始から3週間、授業に参加しなかった場合は返金できませんので、ご注意ください。

返金は申し出た日から30日以内に返金されます。

**プログラムの変更**：MDL学校では学校の不可欠な事情によって授業開始日、コースの内容などを変更する権利があります。また、特別コースの場合は現地での事情によって変更・終了になることもあります。これについての報償・返金はできません。

**祝・休日**：フィリピン指定の祝日・休日・臨時休日には授業は行われず、一部学校の施設使用の制限がある場合もあります。また、休日分の授業料の返金はしません。

**通達規定**：学生に問題があり退校処置の前後、返金の時はMDLは学生の両親と該当留学エージェントに通達することができます。

## MDL警告及び退校規定

警告、退校

**第1項** 学生がMDL学校からの退校処分を受けたら、残余授業があったとしても一切返金できません。卒業書も発行しません。

**第2項** 迷惑行動で他学生やMDL関係者に被害を与えた場合は、警告処置をします。

**第3項** 指定された場所以外での飲酒・喫煙行為が発覚された場合、警告処置します。寮内での喫煙で1回の非常ベルが鳴ったら、MDLスタッフは該当寮をチェックし、警告処置します。

**第4項** 事前の申請無く、門限違反した場合は警告処置します。

**第5項** その他の規定中、明確な違反事実があると客観的に判断される場合、警告します。

**第6項** 数回の注意、警告を受けたことにも関わらず、是正されないとMDLは学生に退校させる権限があります。

**第7項** 留学期間中、通報無く寮、授業を3回以上欠席した場合は、退校処置します。

**第8項** 暴行、盗難などの行為、寮での男女の同宿の場合は退校処置します。

**第9項** 学生の学校内でのギャンブル行為、セクハラ、麻薬使用などの犯罪行為が発覚された場合は退校処置します。

**第10項** デモ、集会を扇動し、学校に被害を与えた場合は、警告無く、退校処置する権限があり、損害賠償を請求することができます。

**第11項** 問題が発生し、退校処置又は返金処置する場合は、MDL学校は留学エージェントに通報することができます。

**第12項** その他の全ての事項はMDLの校則によって、全ての法律な問題と訴訟は学校側の指定権限があります。

**第13項** 指定された時間外にMDL広場を無断利用した場合は警告します。

**第14項** 飲酒後、MDL広場のプールを利用した場合は警告します。

**第15項** 学校到着後、学費割りについての話で問題を起こす場合は、関連学生は警告又は退校処置します。



MDL Building, Magsaysay Extension, Kasambagan, Mabolo, Cebu city, Philippines

**Mail** [mdledu.japan@gmail.com](mailto:mdledu.japan@gmail.com)

**LINE ID** cebumdl

CEBU OFFICE : +63-(0)32-268-9017

SEOUL OFFICE : +82-(02)-582-7032